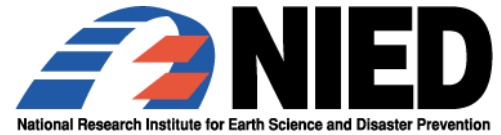


解禁設定：

平成 24 年 9 月 3 日午前 0 時



## プレス発表資料

平成 24 年 8 月 27 日  
独立行政法人 防災科学技術研究所

新しい「強震モニタ」の提供実験を開始



～日本列島の「今」の揺れと緊急地震速報がコラボレーション！

あなたも使ってみませんか？～

独立行政法人防災科学技術研究所（理事長 岡田義光。以下、防災科研）は、全国に設置した強震計（強い揺れを測ることのできる地震計）で観測される日本列島の「今」の揺れと、緊急地震速報による予測情報を重ねて表示する新しい強震モニタの試用版を開発しました。このシステムでは、データの更新が毎秒行われ、表示する地図には固定地図の他に、利用者が自由に拡大や縮小表示をすることができる Google マップも採用していて、様々な用途に合わせた表示ができるよう工夫されています。この試用版強震モニタを実際に利用して頂き、利用の方法や使い勝手、ニーズ等を調査することを目的とした提供実験（参加費無料）を 2012 年 9 月 3 日午前 10 時より開始します。提供実験開始にあたり、実験に参加し試用版強震モニタの利用を希望される方を下記の Web サイトから公募します（応募順に先着千名）。

URL: <http://www.kmoniexp.bosai.go.jp/>

1. 内容：別紙資料による。
2. 本件配布先：文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会

<内容に関するお問い合わせ>

独立行政法人 防災科学技術研究所  
観測・予測研究領域  
地震・火山防災研究ユニット  
地震・火山観測データセンター長  
青井 真  
電 話：029-863-7626  
e-mail：aoi@bosai.go.jp

(連絡先)

独立行政法人 防災科学技術研究所  
社会防災システム研究領域  
アウトリーチ・国際研究推進センター  
アウトリーチグループ  
大石 恵章  
電 話：029-863-7783  
F A X：029-851-1622



別紙資料

## 新しい「強震モニタ」の提供実験を開始

～日本列島の「今」の揺れと緊急地震速報がコラボレーション！

あなたも使ってみませんか？～

### 1. 概要

独立行政法人防災科学技術研究所（理事長 岡田義光。以下、防災科研）は、全国に設置した強震計（強い揺れを測ることのできる地震計）<sup>※1</sup>で観測される日本列島の「今」の揺れと、緊急地震速報<sup>※2</sup>による予測情報を重ねて表示する新しい強震モニタ<sup>※3</sup>の試用版を開発しました。このシステムでは、データの更新が毎秒行われ、表示する地図には固定地図の他に、利用者が自由に拡大や縮小表示をすることができる Google マップ<sup>※4</sup>も採用していて、様々な用途に合わせた表示ができるよう工夫されています。この試用版強震モニタを実際に利用して頂き、利用の方法や使い勝手、ニーズ等を調査することを目的とした提供実験（参加費無料<sup>※5</sup>）を2012年9月3日午前10時より開始します。提供実験開始にあたり、実験に参加し試用版強震モニタの利用を希望される方を下記の Web サイトから公募します（応募順に先着千名）。

URL: <http://www.kmoniexp.bosai.go.jp/>

### 2. あなたも実験に参加してみませんか？（参加費は無料です！）

試用版強震モニタの提供実験を2012年9月3日午前10時より開始します。開始にあたり実験に参加し試用版強震モニタの利用を希望される方を公募します。提供実験に参加を希望される方は、下記 Web サイトにアクセスして頂き、必要事項を記入の上、登録をお願いします。なお、実験に参加される方を対象に、実験期間中に試用版強震モニタに関するアンケート調査を行います。また、実験への参加費は無料です。

- 実験期間：2012年9月3日午前10時より2013年2月28日まで
- 参加募集人数：登録完了順に先着1000名
- 募集 Web サイト：<http://www.kmoniexp.bosai.go.jp/>

### 3. 新しい強震モニタ ～「今」の揺れと緊急地震速報のコラボ～

開発した試用版強震モニタは、全国に設置された強震観測施設からデータセンター(つくば市の防災科研内に設置)に送られてくるデータの一部を利用し、今現在観測されている地面の揺れの表示だけではなく、気象庁から発表されている緊急地震速報による予測情報(震源情報やP波及びS波の到達予想円、予測震度)を合わせて可視化するWebサービスです。試用版強震モニタにはその他に次のような特長があります。

- 1秒間隔で表示データの更新を行います。
- 表示できる揺れの指標は、「最大加速度」や「リアルタイム震度」に加えて、「最大速度」、「最大変位」、周波数別の「速度応答」等10種類から選ぶことが可能となりました。
- 表示する地図は、固定地図とGoogleマップの2つのタイプを用意しました。

# 新しい「強震モニタ」の提供実験のページ

使い方 FAQ リンク ユーザ情報

Social experiment of new strong-motion monitoring system (Kyoshin Monitor) with earthquake early warning

先着1000名様募集！



## 強震モニタと緊急地震速報が コラボレーションはじめます

—新しい強震モニタを使って、ご意見をお聞かせください—

全国に設置された強震計で観測される「今」の揺れと、緊急地震速報による予測情報を重ねて表示する、新しい強震モニタの試用版を開発しました。揺れの情報は1秒間隔で更新され、「最大加速度」や「リアルタイム震度」に加えて、「最大速度」、「最大変位」、周波数別の「速度応答」など10種類の揺れの情報が表示できます。この新しい強震モニタの提供実験の参加者を公募します。

[もっと詳しく>>](#)

- 実験期間: 2012年9月3日より2013年2月28日まで
- 参加募集人数: 登録完了順に先着1000名
- 実施期間中にアンケートに答えていただきます
- 参加費無料!

無料!

[実験に参加する](#)

### お知らせ

・2012/9/3 午前10時より実験参加者の応募を開始します。

#### 実験について

実験の目的とこれまでの強震モニタについて説明します。

[開く>>](#)

#### 試用版強震モニタ (固定地図)



[開く>>](#)

#### 試用版強震モニタ (Googleマップ)



[開く>>](#)

#### アンケート

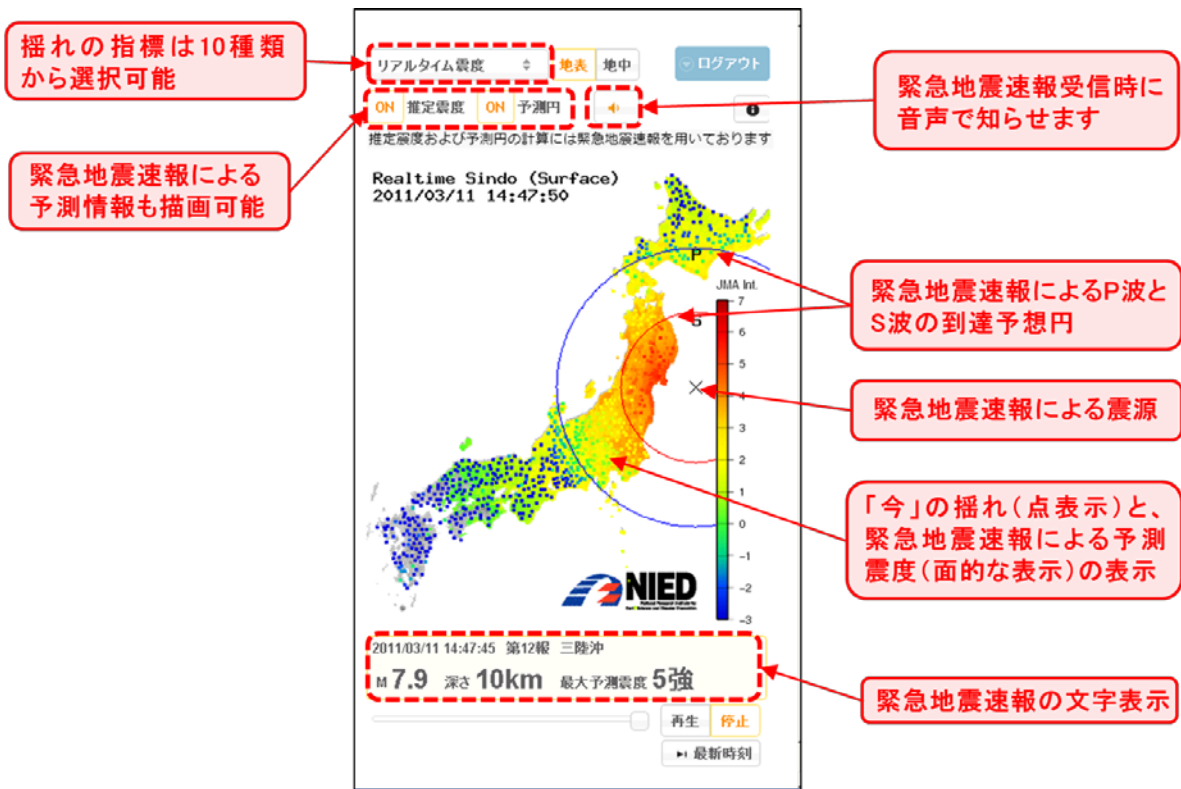
11月頃に実施します。登録ユーザの皆様にお答えいただけます。

[回答する](#)

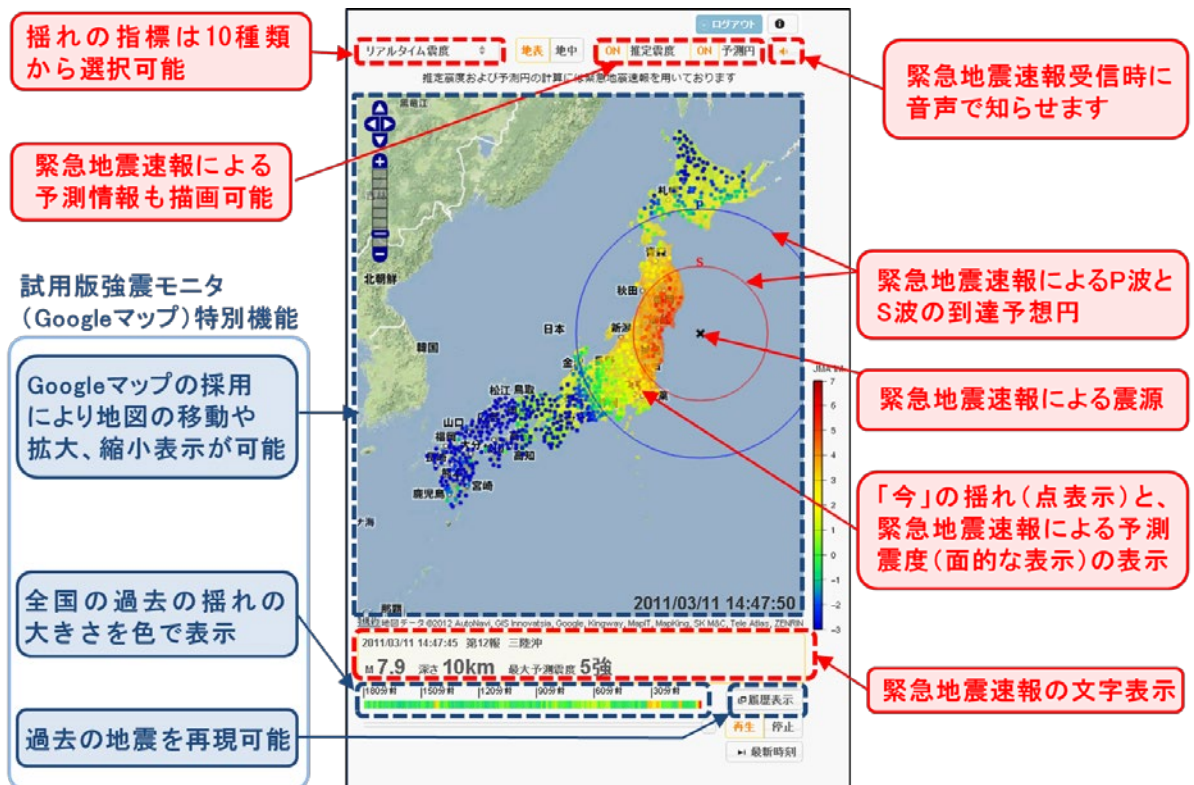


動作環境 お問い合わせ 利用規約・免責事項 copyright © 2012- 独立行政法人防災科学技術研究所

試用版強震モニタ提供実験への参加者募集Webサイト



試用版強震モニタ (固定地図)



試用版強震モニタ (Google マップ)

用語説明：

※1 「強震計」：

非常に強い地面の揺れまで振り切れることなく計測が可能な地震計であり、震度計などがこの仲間に含まれます。防災科研では、2つの強震観測網（K-NET および KiK-net）を設置・運用しています。

・ K-NET の概要：K-NET（Kyoshin Net：全国強震観測網）は防災科研が運用する全国を約 20km 間隔で均質に覆う 1,000 箇所以上の強震観測施設からなる強震観測網であり、1996 年（平成 8 年）6 月から運用を開始しています。地震被害に直接結びつく地表の強震動を均質な観測条件で記録するために、各観測施設は、一部の例外を除き統一した規格で建設され、自由地盤上（地表）に強震計が設置されています。震度情報ネットワークの一部に組み入れられており、観測された震度は気象庁に送られ、国や自治体の適切な初動体制の確立等に活用されるほか、テレビ等で地震直後に報道されます。また、蓄積された強震記録はデータベース化され、地震防災等の様々な実務や研究に役立てることが出来ます。

・ KiK-net の概要：KiK-net（Kiban-Kyoshin Network：基盤強震観測網）は、全国にわたる総合的な地震防災対策を推進するために、政府の地震調査研究推進本部が推進している「地震に関する基盤的調査観測計画」の一環として、防災科研が高感度地震観測網（Hi-net）と共に整備した強震観測網です。KiK-net の観測施設は、全国約 700 箇所に配置され、各観測施設には観測用の井戸（観測井）が掘削されており、地表と地中（井戸底）の 2 箇所に強震計が設置されているのが特徴です。

※2 「緊急地震速報」：

地震の発生直後に、震源に近い地震計でとらえた観測データを解析して震源や地震の規模（マグニチュード）を直ちに推定し、これに基づいて各地での主要動の到達時刻や震度を予測し、可能な限り素早く知らせる地震動の予報・警報で、平成 19 年 10 月 1 日より気象庁から一般への提供が開始されています。緊急地震速報には気象庁の観測網データの他に、防災科研の高感度地震観測網のデータや開発した即時震源決定手法が用いられています。より詳しくは、下記の気象庁の解説の Web サイトをご参照下さい。

(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/index.html>)

※3 「強震モニタ」：

全国の強震観測網の地震計で観測した今現在の揺れを、そのままに近いかたち

で配信している Web サービスです。揺れの大きさに応じた色のついた点を地図上に表示し、定期的に更新することで動画として地震の揺れの伝わる様子が直感的に理解できるように工夫されています。より詳しくは、今年のプレスリリース（平成 23 年 6 月 21 日）をご参照下さい。

([http://www.bosai.go.jp/press/2011/pdf/20110621\\_01.pdf](http://www.bosai.go.jp/press/2011/pdf/20110621_01.pdf))

※4 「Google マップ」:

ウェブブラウザで利用できる地図サービスで、グーグル株式会社が提供しています。マウスでドラッグすることでスクロールでき、目的場所の地図やその付近の様子を拡大や縮小表示をして確認することもできます。通常 of 地図表示のほか、衛星・航空写真を表示する写真表示や、地図と写真を複合的に表示することもできます。

※5 「参加費無料」:

提供実験には無料で参加できます。但し、配信データを受信するためのインターネット通信費等の費用は、参加者の負担となります。